

授業科目 相談援助演習Ⅰ

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	社会
河野 聖夫、星野 恵美子、鈴木 未来、圓山 里子 笠井 友治郎、宮崎 純子、星名 究		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【概要・一般目標：G10】 ソーシャルワーク実践の基礎となる視点と技術を学ぶとともに、対象者理解の視点を修得する。学生による主体的なプレゼンテーション、ディスカッション、ロールプレイなどを通じて実際の援助場面をイメージしながら、思考力・共感力などを高めていく。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1 自己理解や他者理解を深める。 2 コミュニケーションの能力を高める。 3 ソーシャルワーク実践の基礎となる対話技術を習得する。 4 対象者（クライアント）理解の視点について学ぶ。 5 ソーシャルワーカーが備えているべき観察力、理解力、分析・判断力、応用力、計画・企画力などについて考える。					
回数	授業計画・学習の主題	SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	オリエンテーション		自己紹介 授業予定の確認 ほか		
2	自己理解・他者理解 1		自分から見た私 他者から見た私 を考える ほか		
3	自己理解・他者理解 2		自分の日常的な会話を分析、考察する ほか		
4	自己理解・他者理解 3		初対面の印象について考える ほか		
5	コミュニケーションの基礎 1		挨拶の方法と特徴について考える ほか		
6	コミュニケーションの基礎 2		言語的コミュニケーション技法		
7	コミュニケーションの基礎 3		非言語的コミュニケーション技法		
8	コミュニケーションの基礎 4		文書、手紙、メールなどによるコミュニケーション ほか		
9	対象者理解 相談援助の対象者（来談者）について学ぶ		模擬体験や事例を通じてのグループ討議 ほか		
10	対象者理解 相談援助の対象者（来談者）について学ぶ		模擬体験や事例を通じてのグループ討議 ほか		
11	対象者理解 相談援助の対象者（来談者）について学ぶ		模擬体験や事例を通じてのグループ討議 ほか		
12	対人関係への理解		援助関係や信頼関係について体験的に学ぶ		
13	対人関係への理解		援助関係や信頼関係について体験的に学ぶ		
14	対人関係への理解		援助関係や信頼関係について体験的に学ぶ		
15	まとめ		考察 振り返り 自己課題の考察		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	社会福祉士相談援助演習		社団法人日本社会福祉士 養成校協会監修	中央法規	2009・2,600円＋税
	実習生のための対人援助技術 ケースワークの原則：援助関係を形成する 技法, 新訳改訂版		社会福祉実習研究会編集	中央法規 誠信書房	2006・2,200円＋税 2006
その他の資料					
【評価方法】		【履修上の留意点】			
出席 参加態度 取り組みの成果		継続的な取り組みなので 特に事情の無い限り 欠席は認められない			